

**No title available**

**Publication number:** JP5086287 (U)

**Publication date:** 1993-11-22

**Inventor(s):**

**Applicant(s):**

**Classification:**

- international: **A47K3/28; A47K3/28;** (IPC1-7): A47K3/22

- European:

**Application number:** JP19920028497U 19920428

**Priority number(s):** JP19920028497U 19920428

D2

Abstract not available for **JP 5086287 (U)**

---

Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide

D2

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-86287

(43)公開日 平成5年(1993)11月22日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

A 4 7 K 3/22

識別記号

片内整理番号

7150-2D

FI

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 実願平4-28497

(22)出願日 平成4年(1992)4月28日

(71)出願人 000010087

東陶機器株式会社

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

(72)考案者 在津 勝

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 東陶機器株式会社内

(72)考案者 長野 勝彦

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 東陶機器株式会社内

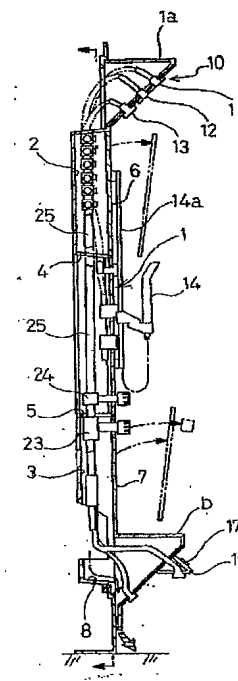
(74)代理人 弁理士 早川 政名

(54)【考案の名称】 シャワー装置

(57)【要約】

【目的】 ユニットバスルームの周壁にはめ込んで設置するシャワー装置に対して、結露によりバルブ類から流れ落ちる水滴を浴室内側に流し出す手段を具備せしめることにより、結露による水漏れや漏電等の問題を解決することを目的とする。

【構成】 本体パネル1の所要箇所に収納凹部2, 3を形成してバルブ類31~17, 23, 24を収納し、この収納凹部2, 3と本体パネル1の下部に設けた受け皿部8とを連通させてなるものである。



1

## 【実用新案登録請求の範囲】

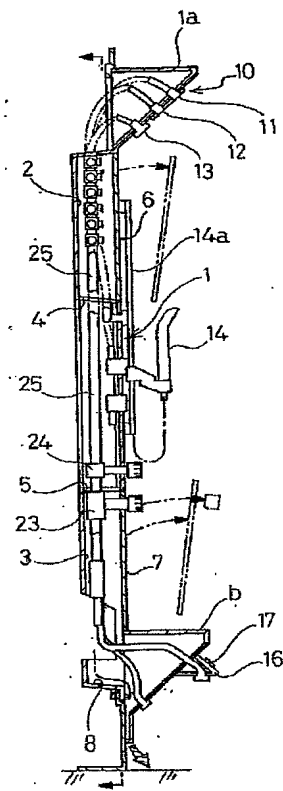
【請求項1】 ユニットバスルームの壁面に嵌め込んで設置する本体パネルを備え、該本体パネル表面の所要箇所に収納凹部を形成してバルブ類を収納し、この収納凹部と本体パネルの下部に設けた水滴用の受け皿とを連通せしめ、上記受け皿を浴室内へ向けて開放してなるシャワー装置。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案を実施したシャワー装置を示す縦断側面図。

\*10

【図1】



2

\*【図2】 同シャワー装置を示す縦断正面図。

【図3】 同シャワー装置の設置状態を示す斜視図。

【図4】 同シャワー装置の配管系路図。

## 【符号の説明】

a・・・壁パネル

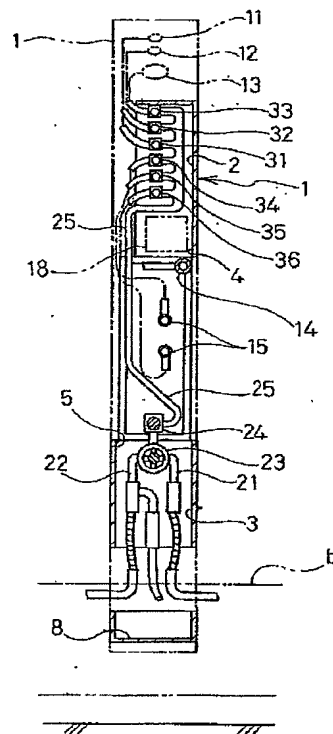
1・・・本体パネル

2, 3・・・収納凹部

4, 5・・・連通口

8・・・受け皿

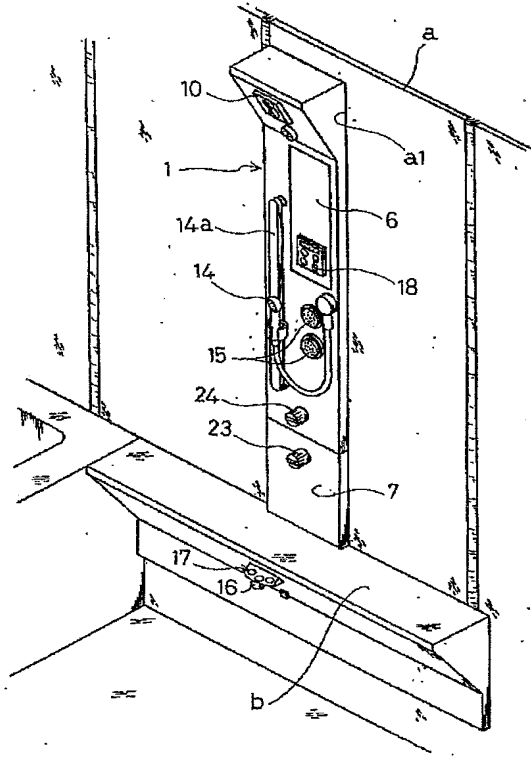
【図2】



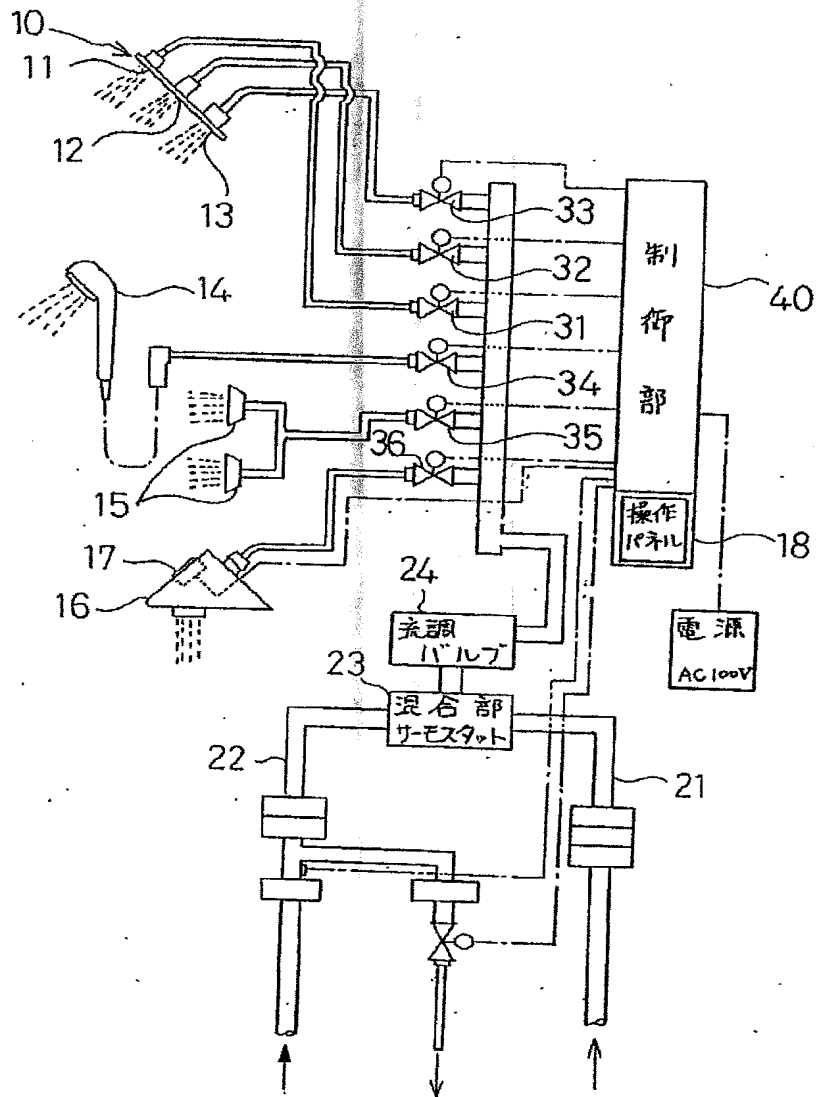
(3)

実開平5-86287

【図3】



【図4】



**【考案の詳細な説明】****【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案はユニットバスルームの壁面に嵌め込んで設置するシャワー装置に関する。

**【0002】****【従来の技術】**

従来のシャワー装置の中にはユニットバスルームの壁面を構成する壁パネルの一部に嵌め込んで設置するものがある。このタイプのシャワー装置は壁パネルと共に周壁の一部に嵌め込む縦長状の本体パネルを備え、この本体パネルの上部や中間位置にヘッドシャワーやボディシャワー、ハンドシャワー等、数種類のシャワー吐水口を設けて構成してある。そして、混合栓にて所望の温度にした給湯を流量調節弁及び開閉弁を介して各々のシャワー吐水口に対して供給している。

**【0003】****【考案が解決しようとする課題】**

上記した混合栓や開閉弁等のバルブ類は本体パネル裏側のフレーム部材等に対して取付支持しているが、室温や湿度の関係でこれらのバルブ類の表面に結露が生じるとバルブ類に付着した水滴が本体パネルの裏側に沿って流れ落ちたり滴下したりすることになる。

**【0004】**

しかし、上記したバルブ類は本体パネルにより仕切られる形でユニットバスルームの外側に設けられており、この為にバルブ類から流れ落ちた水滴がユニットバスルームの壁面の外側とユニットバスルーム自体を収容する部屋の壁面との間の隙間に流れ出ることになるので、水漏れや漏電等の点で問題があった。

**【0005】**

一方、上記した本体パネルは合成樹脂パネル等を用いて成形してあるが、比較的薄いパネル材を用いるために剛性不足になりがちであり、よって、本体パネルは何等かの方法で剛性を向上させる必要がある。

**【0006】**

本考案は、上記したようなシャワー装置に対して、結露によりバルブ類から流れ落ちる水滴を浴室内側に流し出す手段を具備せしめることにより、結露による水漏れや漏電等の問題を解決することを目的とする。

#### 【0007】

##### 【課題を解決するための手段】

上記した課題を解決する為に、本考案のシャワー装置は、ユニットバスルームの壁面に嵌め込んで設置する本体パネルを備え、該本体パネル表面の所要箇所に収納凹部を形成してバルブ類を収納し、この収納凹部と本体パネルの下部に設けた水滴用の受け皿とを連通せしめ、上記受け皿を浴室内へ向けて開放してなるものである。

#### 【0008】

##### 【作用】

以上の手段によれば、シャワー装置のバルブ類は本体パネルに形成した収納凹部に収納され、該バルブ類に結露が生じるとバルブ類から流れ落ちる水滴が上記収納凹部内において滴下した後、連通部分を介して本体パネルの下部に設けた受け皿内に落下する。そして、受け皿上に落ちた水滴は同受け皿の開放部から浴室内部へ向けて流れ出て排水される。

#### 【0009】

##### 【考案の効果】

本考案は以上説明したように、シャワー装置のバルブ類を本体パネルに設けた収納凹部内に収納し、結露によりバルブ類から流れ落ちる水滴を上記収納凹部から本体パネルの下部に設けた受け皿上に落下させて浴室内へ流れ出すように構成したものであるから、従来のもののように結露によりバルブ類に生じた水滴がユニットバスルームの外側に流れ出して水漏れや漏電を引き起こす問題を解決することができる。

#### 【0010】

また、上記したように本体パネルにバルブ類の収納凹部を形成することによれば、本体パネル自体の剛性を合理的に向上させることもできる。

#### 【0011】

**【実施例】**

以下、本考案の一実施を図面に基づいて説明する。

図1乃至図3にて示すシャワー装置は、複数のシャワー吐水口やバルブ類を設ける縦長状の本体パネル1を備え、この本体パネル1をユニットバスルームの壁パネルaに開口させた取付口a1に嵌め込んで取付支持することにより、ユニットバスルームの周壁の所定箇所に設置してある。また、本体パネル1が設置される周壁の下部に沿ってはカウンターbが設けられ、このカウンターbの立上り面にカラン16が設けてある。

**【0012】**

本体パネル1は合成樹脂製パネルを用いて縦長状に形成し、上端部には後述するオーバーヘッドシャワー10を設ける吐出部1aを突出形成すると共に、パネル上部及び下部にはバルブ類を収納する収納凹部2及び3を凹設し、さらにパネル下端部には受け皿8を設けて構成してある。

**【0013】**

また、上記した本体パネル1の各所には種類の異なるシャワー吐水口が設けてあり、例えば、パネル1上端部において斜め下方を向けて形成した吐出部1aには、打たせシャワー11、スプレーシャワー12、マイクロシャワー13の3個のシャワー吐水口を集合させることにより構成したオーバーヘッドシャワー10を取り付けてある。

**【0014】**

そして、パネル1中央部にはボディシャワー15とスライドバー14aに沿って支持位置をスライド調節できるように構成したハンドシャワー14を設け、さらに、本体パネル1の下部に沿って設けたカウンターbの立上り面にはカラン16を設けてある。尚、上記したカラン16には各シャワーの吐水操作を行なう操作パネル17が設けてある。

**【0015】**

図4は上記したシャワー装置の配管系路を示し、給水管21と給湯管22から供給される湯と水を手動式混合栓23を介して所定温度の混合水に混合し、この混合水を手動式流量調節弁24を介して各シャワー吐水口11～15とカラン1



6に供給する。31～36は各シャワー吐水口11～15とカラン16に対応して設けた電磁弁であり、これらの電磁弁31～36を制御部40に対して電氣的に連絡し、前記した収納凹部3を覆う蓋体6に設けた操作パネル18、若しくはカラン16に設けた操作パネル17からの操作で各電磁弁31～36を開閉することにより所望のシャワー吐水口11～16から吐水するように構成してある。

#### 【0016】

上記した電磁弁31～36及び混合栓23、流量調節弁24は、図2にて示すように本体パネル1に設けた収納凹部2及び3の内部に収納する形で取付支持してある。例えば各シャワー吐水口11～15とカラン16用の電磁弁31～36は、本体パネル1の上部に凹設した収納凹部2内において縦一列に並べた状態で取付け支持し、各シャワー吐水口11～15及びカラン16に連絡する給水配管を接続してある。

#### 【0017】

また、混合栓23と流量調節弁24は本体パネル1の下部に凹設した収納凹部3内において上下に並べた状態で取付支持し、混合栓23に対して給水管21と給湯管22を接続してある。そして、流量調節弁24と前記した各電子弁31～37とを本体パネル1の裏面を通した配管25により連絡してある。

#### 【0018】

上記した収納凹部2、3はパネル1の表面側を開口する形で凹設してあるが、その開口は各々蓋体6および7により各々開閉可能に塞いである。

#### 【0019】

また、図1にて示すように収納凹部2の下面と収納凹部3の上面は大きく切欠して連通口4、5を開口させてあり、これにより両収納凹部2、3が上記連通口4、5を介して連通し、上部の収納凹部2から滴下する水滴が下部の収納凹部3内に落下するようにしてある。

#### 【0020】

下側の収納凹部3の最下部には受け皿8が一体成形してある。受け皿8は収納凹部3内に滴下する水滴を集めて浴室内に流し出すものであり、浴室内へ向けて開放してある。

**【0021】**

ところで、上記した各電磁弁31～36や混合栓23流量調節弁24の表面には弁の表面温度と室温、湿度の関係から頻繁に結露が生じる。そして、上記したバルブ類の表面に付着した水滴は収納凹部2, 3内に沿って滴下し、上部収納凹部2に滴下したものは連通口4, 5を通して落下したり、若しくは本体パネル1の裏面をつたわって流れ落ちることにより下部の収納凹部3内に至り、最下部の受け皿8内に集められる。

**【0022】**

そして、受け皿8にて集められた水は周壁の下部に沿って設けたカウンターbの裏側に流れ出し、さらに同カウンターb下部の間隙cからユニットバスルームの床に流れ落ちて排水される。

**【0023】**

以上のように構成したシャワー装置によれば、電磁弁31～36や混合栓23等のバルブ類を本体パネル1に設けた収納凹部2, 3内に収納し、結露の発生により上記バルブ類から流れ落ちる水滴を最下部の受け皿8ににより受けて浴室の床に流し出すように構成してあるので、従来のもののように結露によりバルブ類に生じた水滴がユニットバスルームの外側に流れ出すことがなくなり、漏れ水や漏電等の問題を未然に防止することができる。

**【0024】**

また、上記したように本体パネル1に大きな収納凹部2, 3を形成することによれば、本体パネル1にバルブ類の収納に必要な収納部を確保すると同時に本体パネル1自体の剛性を効果的に向上させることができる。



【公報種別】 実用新案法第 5 5 条第 2 項において準用する特許法第 1 7 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 1 部門第 2 区分

【発行日】 平成 9 年（1 9 9 7）2 月 2 5 日

【公開番号】 実開平 5－8 6 2 8 7

【公開日】 平成 5 年（1 9 9 3）1 1 月 2 2 日

【年通号数】 公開実用新案公報 5－8 6 3

【出願番号】 実願平 4－2 8 4 9 7

【国際特許分類第 6 版】

A47K 3/22

【F I】

A47K 3/22 9126-2D

【手続補正書】

【提出日】 平成 8 年 4 月 1 2 日

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正内容】

【書類名】 明 細 書

【考案の名称】 バスルーム装置

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 バスルーム壁面の背面側に設置した給水配管と、同バスルーム壁面の表面側に設けた吐水口とを連絡して成るバスルーム装置において、前記給水配管から滴下する水滴を、前記バスルーム壁面の表面側に流出させる流出経路を設けて成るバスルーム装置。

【請求項 2】 前記バスルーム壁面は、設置場所の取付部に対して壁面パネルを取付ることにより構成し、且つ、前記流出経路は、前記壁面パネルと設置場所取付部との間隙に形成して成る請求項 1 記載のバスルーム装

置。

【請求項 3】 バスルームに面する前記流出経路の流出口を、該流出口からの流出水が前記バスルーム壁面に沿って流れ落ちる位置に設けて成る請求項 1 または 2 記載のバスルーム装置。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案を実施したバスルーム装置を示す縦断側面図。

【図 2】 同バスルーム装置を示す縦断正面図。

【図 3】 同バスルーム装置の設置状態を示す斜視図。

【図 4】 同バスルーム装置の配管系路図。

【符号の説明】

a・・・壁パネル（壁面パネル）

1・・・本体パネル（壁面パネル）

2, 3・・・収納凹部

4, 5・・・連通口

8・・・受け皿（4, 5, 6 流出経路）

D4700-427